

受注後生産

スクリーンインキ

反応型インキ

二液反応型

# NAPインキ 2300シリーズ

従来の二液反応型インキでは劣る傾向にあった耐薬品性（特に耐日焼け止め性）が優れた二液反応型の光沢インキです。

## 製品の特長

- 耐薬品性、耐溶剤性が優れた塗膜を形成します。
- 耐薬品性の中でも特に耐日焼け止め性が優れます。
- 塗膜の隠蔽力が優れます。
- 耐候性が優れます。

## 特性

隠ぺい性

接着性

## 耐性

耐薬品性

耐溶剤性

## 推奨被印刷物

## 材質

アクリル [PMMA]

アクリロニトリルブタジエンスチレン [ABS]

ポリカーボネート [PC]

## 仕上り・質感・見た目の効果

## 仕上り

グロス

## カラー・グレード

## 標準色（一般色）

00HLメジウム	06金赤	07HL高濃度白	13青黄	14黄	16HLピンク	18HL紅	25紫	28HLオレンジ	38赤
45HL濃藍	46HL藍	76グリーン	90HL黒						

## スペック

### 荷姿

1kg金属缶

## 使用方法

- インキに硬化剤、希釈溶剤を添加し、よく攪拌し印刷してください。
  - 硬化剤：JA-950 10部
  - 希釈溶剤：PC溶剤（速乾、標準、遅乾、リターダー、特リターダー） 約5～20部程度

## 刷版

## 印刷方式・版式

## スクリーン印刷

版の種類	メッシュ	被印刷基材
ポリエステル版	200～300メッシュ	ポリカーボネート

## 硬化方法・硬化条件

より高温で長時間加熱することにより耐薬品性が向上します。

## 蒸発乾燥条件

中間乾燥	最終乾燥
80°C5～10分	80°C30分以上

## 試験データ（環境・物性・耐候性・性能など）

## 条件

インキ	NAP2300 07HL 高濃度白 100部
硬化剤	JA-950 10部
希釈溶剤	PC標準溶剤 10部
基材	ポリカーボネート
刷版	ポリエステル250メッシュ
乾燥膜厚	約6 $\mu$ m (耐日焼け止め性のみ250メッシュ2層 約12 $\mu$ m)
乾燥	80°C60分

## 結果

試験項目	試験方法	結果
接着性	クロスカット法	100/100 剥離なし
鉛筆硬度	鉛筆硬度 手押し式試験法 荷重750g	HB
耐摩耗性	テーパー摩耗 CS-10 500gf 200回転	素地見えなし
耐湿熱性	50°C95%RH 240回転	外観変化なし
耐熱性	100°C 240時間	外観変化なし
耐水性	温水40°C 240時間浸漬	外観変化なし
耐酸性	0.1N H <sub>2</sub> SO <sub>4</sub> 水溶液25°C 4時間浸漬	外観変化なし ΔE ≤ 1.5
耐アルカリ性	0.1N NaOH水溶液55°C 4時間浸漬	外観変化なし ΔE ≤ 1.5
耐アルコール性	99.5%エタノール ラビング500gf 100往復	外観変化なし
耐日焼け止め性	日焼け止めクリームNeutrogena SPF45 2.0g/100cm <sup>2</sup> 、55°C、4時間	後付き、変色があるが ほとんど目立たない
耐光性	キセノンウェザーメーター 放射照度150W/m <sup>2</sup> 、BPT83°C、300MJ	外観変化なし ΔE ≤ 1.0

## 注意事項

- NAPインキは二液反応型インキのため硬化が不十分だと本来の性能を発揮できません。
- インキのポットライフはインキの色、溶剤希釈量等の配合条件や、気温、湿度等の使用環境によって変化します。事前に確認試験を行ってから印刷を実施してください。
- 基材グレードによっては、耐湿熱性、耐熱性、冷熱サイクル等の基材収縮が大きく発生する物性項目で剥離する可能性があります。その場合はJA-945（5%）で確認してください。
- 塗膜厚によって得られる耐サンスクリーン性は異なります。厚膜にすることで耐サンスクリーン性は向上します。
- ご使用に際しての安全上の注意事項に関しては、製品の安全データシート（SDS）をご参照下さい。
- 当インフォメーションに記載されている内容は予告無しに変更・改訂する場合があります。
- この特性データは、弊社の実施した評価結果に基づくもので、お客さまのご使用時の製品特性を保証するものではありません。
- 使用の際は、実際に使用される装置及び被着材での評価結果に基づき、条件を十分ご検討の上、ご使用下さい。